Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

KEIO 150
Design the Future

2008 年 9 月 8 日

「慶應義塾日吉キャンパス　協生館」内覧会のご案内

慶應義塾は、2008 年に創立 150 年を迎えました。この創立 150 年記念事業のコンセプト「未来への先導」と「独立と協生」の「協生」（協力して生きる）の場として複合施設を建設しておりましたが、この度無事に竣工いたしました。

社会･地域との協生を目指して建設されたコンセプトを反映して「協生館（英名　Collaboration Complex）」と名付けられました。東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄の日吉駅からすぐという条件のよい立地に、大学を中心として展開されるひとつの街のような施設が、地域の一般の方々にもご利用いただける形でこの規模で実現したのは日本の大学では他に例を見ません。またこの「協生館」は、地球温暖化、ヒートアイランドなどにも配慮した構造になっており、建築物の環境への負荷低減を促すことを目的として横浜市によって導入された CASBEE 横浜認証制度の第 1 号として最高位の「S ランク」を受けています。

この度、9 月 25 日（木）に報道関係者の皆様方へ館内ご披露させていただく内覧会を下記の要領にて執り行うこととなりました。同館内での活動につき、マスコミの皆様に当日初めてご案内する内容もございます。新しい建物のお披露目とともに、この空間にて実現した慶應義塾創立 150 年の歴史を創り、これからの時代の可能性につなげる理念をご理解いただく機会として、安西祐一郎慶應義塾長以下弊学担当者が直接皆様にご説明します。つきましてはご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご来場いただければ幸いです。ご出席くださる場合には、別紙 FAX 返信用紙にて 9 月 17 日（水）までにお知らせくださいますようお願い申し上げます。

■内覧会　開催概要

9 月 25 日（木）　慶應義塾大学日吉キャンパス協生館（別紙地図ご参照）
13：30～　　受付開始（５階 Executive Seminar Room 前にて）
14：00～14：40　記者説明会(Executive Seminar Room にて)
14：40～15：40　施設内覧
15：40～16：10　ご懇談（協生館２階 多目的教室にて）

■　出席者

慶應義塾長　安西祐一郎
慶應義塾常任理事　西村太良
慶應義塾常任理事　工藤教和
慶應義塾常任理事　森征一
慶應義塾大学大学院経営管理研究科委員長　池尾恭一
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長　狼嘉彰
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科委員長　稲蔭正彦
慶應義塾塾監局長　古屋正博

■　CASBEE 横浜認証制度説明者

横浜市まちづくり調整局　建築審査部長 吉田志朗氏

＊本件に関するお問い合わせ等は、慶應義塾広報室 河越・兒玉までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

Tel：03-5427-1541（広報室直通）　Fax: 03-5441-7640　e-mail：m-koho@adst.keio.ac.jp

【別紙１】

「慶應義塾日吉キャンパス　協生館」概要
―「独立と協生」　開かれた学塾へ―

1858 年に築地鉄砲洲にて小さな蘭学塾として始まった慶應義塾は、1871 年に現在の三田キャンパスに移転した後、1920 年代には当初の学生数 300 名から 10,700 名へと増加したことを受け、様々な検討を経て、1934 年 4 月より日吉キャンパスを開設しました。第 2 次世界大戦中の一部被災や 1945 年 9 月のアメリカ軍による接収と 1949 年 7 月の返還を経て、現在は約 10 万坪の広大な敷地に文・医・薬学部の 1 年生、経済・法・商・理工学部の 1・2 年生が学び、慶應義塾大学のなかでもひときわ若々しく活気に溢れています。また、開設当初より現在の東急東横線沿線の発展と共に歩んできておりますが、地域の方々のご家族連れの散歩や、様々なイベントへの参加など、慶應義塾と地域の交流の場としても頻繁に地域の方々が集まるキャンパスです。

この日吉キャンパスに、慶應義塾創立 150 年記念事業として「協生館」が竣工しました。東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄の日吉駅からすぐという立地に、音楽ホール、開放型体育施設、多目的教室、イベントホール、地域の方々にもご利用いただける店舗などが次々とオープンいたします。慶應義塾は、この「協生館」を舞台に、創立 150 年記念事業のコンセプト「未来への先導」と「独立と協生」の実践の場として、地域の皆様とともに未来を先導するリーダーの育成を目指します。

■主な特徴

１．社会・地域連携/貢献

協生館の使命である開放型キャンパスとしての機能を充実させ、社会・地域連携の場として活用します。

・慶應義塾と地域の方々の出会いの場となるコミュニケーションプラザ
・新事業・新産業の創出の促進と、地域と世界で活躍する企業の支援機能
・地域の皆様のサークル活動、講演会等にご利用いただける多目的教室 3 室
・ウエディングパーティやバンケットも可能なイベントホール
・地域の皆様にもご利用いただける港北区初出店、大学初出店の飲食店を含む 4 店舗が順次オープン

２．文化・芸術

教育・研究機関としての、また地域の皆様の文化拠点をめざして、最先端、ハイクラスの設備を導入しました。

・優れた音響と情報通信設備を誇る講堂兼音楽ホール（500 人収容）
・研究成果や学生の活動や地域の皆様の作品等の展示が可能なラウンジ

３．環境・安全・健康キャンパス

［環境］
・横浜市が全国の自治体に先駆けて実施した、環境に優しい建物を認証する制度（CASBEE 横浜認証制度）の第 1 号として、最高位「S」ランクを認証
・コージェネレーションシステム導入、トップライトによる自然採光などにより省エネを実践

［安全］
・人命、研究成果や重要な機器等を安全に守る免震構造を導入

［健康］
・光が差し込む水球プールを兼ねた国内公認の 50m プールと飛び込みプール
・日本陸上競技連盟公認第 4 種公認予定の陸上競技場、世界初の公認人工芝投擲フィールド
・開放型体育施設

４．学術・研究

最先端の設備を使って大学院の授業が行われます。

・日本で最も長い歴史を有するビジネススクール―大学院経営管理研究科
・グローバル社会をリードする人材育成を目指して 2008 年に開設した２つの大学院
　―システムデザイン・マネジメント研究科、メディアデザイン研究科

内覧会当日は上記に加えて、マスコミの皆様に初めて発表する施設が複数ございます。
また、各施設の詳細について、当日現地をご案内しながらご説明申し上げます。

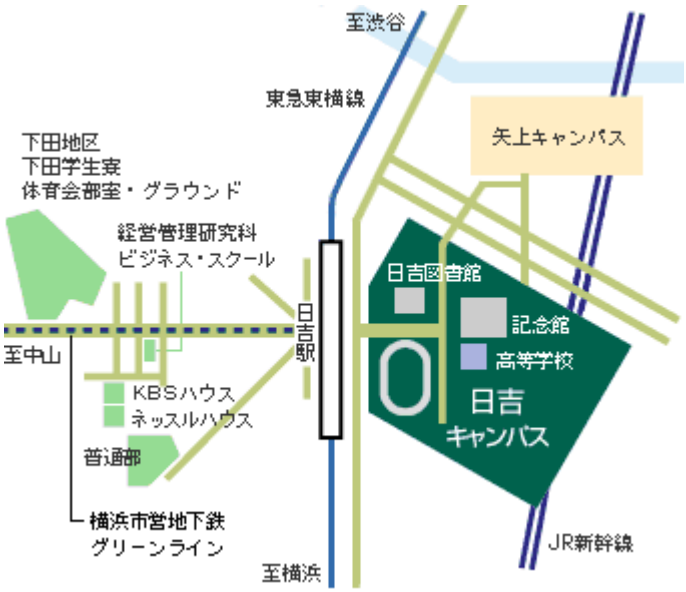
慶應義塾大学日吉キャンパス案内図

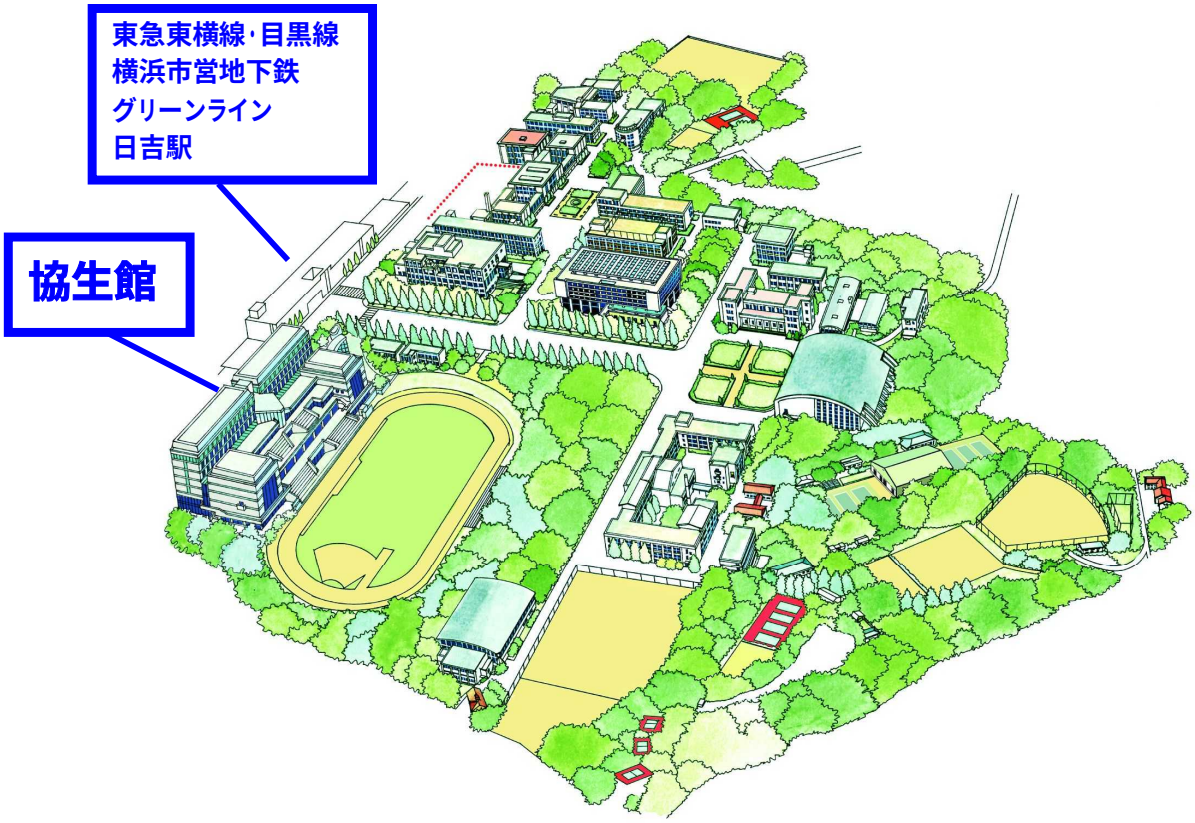
【別紙 2】

日吉
HIYOSHI CAMPUS

〒223-8521
神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
TEL. 045-563-1111

・東急東横線、東急目黒線
　横浜市営地下鉄グリーンライン
　日吉駅下車(徒歩 1 分)
※東急東横線の特急は
　日吉駅に停まりません。
※渋谷～日吉：25 分(急行約 20 分)
※横浜～日吉：20 分(急行約 15 分)
※新横浜～菊名～日吉：20 分





【別紙 3】

慶應義塾日吉キャンパス
協生館内覧会
9 月 25 日（木）14:00〜16:10

FAX 返信先：慶應義塾広報室　担当：河越・兒玉

FAX　03－5441－7640

本件に関するお問い合わせ先：03-5427-1541

お手数ですが、必要事項をこの返信用紙にご記入のうえ、**9 月 17 日（水）まで**に FAX にてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

協生館内覧会ご出席・ご欠席

撮影取材について　　あり　・　なし

スチル・　動画

【ご要望記入欄】ご希望の項目にチェックをお願いします。

□内覧会には参加できないが、別日程で取材、撮影を希望する。

□その他（　　）

＊別日程でのご取材等をご希望の場合は後日調整させていただきます。

貴媒体名			
代表者お名前		ご取材希望人数	人
貴社名（部署名）			
ご連絡先	TEL		
	E-mail		